

高峰地区／ゆいの里たかみね

(●協議会長／小川 吉儀 ●世帯数／107戸)



【地域の紹介】

平成26年度に総務省から「過疎集落等自立再生対策事業」を受け地区全体で地域活性化に取り組んでいる。昨年2月には、高齢者世帯の除雪対策の一環として外部から除雪ボランティアの受入れを行っている。今年度からは高齢者の健康づくりを進めるために「ゆいの里たかみねサロン」を立ち上げ、月2回の活動を実施するなど、これからの活動にも注目したい地域である。

■農作物を使って、高齢者の楽しみと地域ぐるみのイベントを増やそう！

⇒米づくり、野菜づくりが地元の高齢者の生きがい。いつか地元で直売所を作りたい。

- ・まずは、野菜の物々交換からやってみる。(失われた農産物を復活させよう)
- ・美味しいおにぎりづくりをマスターし「おにぎりパーティー」を開いてみる。

■サロン活動を通じて高齢者の健康づくりと介護予防を推進しよう！

⇒健康長寿を目標に地元の高齢者が気軽に集まれる場の定着化を図る。

- ・サロンに集まったら、「お手玉」を使って脳のトレーニング。

■冬期間の「除雪」が高齢者世帯にとって大きな悩みの種！VS雪

⇒除雪ボランティアの養成と外部からの受入れを積極的に行う。

■地元の高齢者が持つ優れた技術や昔の経験を地域づくりに活かそう！

⇒お手玉などの「昔の遊び」や「郷土料理」を地元の子供達に伝える。

- ・山菜干しの技術を若い世代に伝承。和服のリフォーム教室等を開催してみる。
- ・除雪ボランティアに来てくれた都会の人達を招待してもてなそう。(ゆいの里たかみねファン作る)

